

連載・第2弾
大岡川
水中ドローンの
旅

@弘明寺辺り



いきなり水中ドローンに搭載されたカメラの前を巨大な鯉が通り過ぎていきました。水中ドローンにはあまり警戒心を抱かないようです。

巨大な鯉が 群れで上がって来た!

11時を過ぎると、川の流
れが淀み始めました。
この日は午前10時50分頃
が干潮。そうです、海が干潮
から今度は満潮に向かって
潮が満ち始めているその影
響がここにも届き始めたの
です。今回の水中ドローン
の旅で、海から数キロも離
れた街中に、他の川の中流
域では見られない、こんな
とても面白い環境があるこ
とがわかりました。

そんな時、水中ドローン
に搭載されたカメラの前を
何か黒く大きな生き物が通
り過ぎていきました。なんと
と推定60cmは超える大き



川底には空き缶なども沈んでいました。潮の満ち引きでここまで海水が届く環境には、いろいろな生き物たちが暮らしているはず。だからこそ、このエリアは大切にしたいですね。

な鯉です。水中ドローンに
怯えることなく、ゆったりと
身をくねらせて通り過ぎて
行きました。

引き潮時には、上流から
の淡水が海水を海側に押
すためにこの大きな鯉たち
も下流方面へと遊びに行っ
ていました。しかし、潮が満
ち始めて今度は逆に下流か
ら海水が淡水を押し始める
と、海水では生きられない
鯉たちもその水を避けて下

流からどんどん上がって
くるのです。この水中ドロー
ンのカメラで見える1mぐら
いの中でも3~4尾の鯉の姿
が確認できましたから、
きっと相当な数の鯉がここ
には棲んでいるのでしょう。
陸上から川を眺めているだ
けではわかりませんが、水
中ドローンをこのエリアに
入れたことで、また大岡川
の面白い一面を垣間見るこ
とができました。

潮の満ち引きが ここまで影響する!

3月20日の午前10時過ぎ
に、大岡川弘明寺エリアに
到着。河原まで降りられる
ようになっている階段で、下
まで降りてみると、河原脇
の歩道に水があらこちら
に溜まっていた。

「おう、今日は大潮で夜
明け前が満潮だったから
な、潮位が高くなって河原脇
の道が水没しとったのよ」
地元の初老の方が二人、
大きな声でそんな話をし
ているのが聞こえて来まし
た。どうやら海から随分と奥
に入っているとはいえ、弘明
寺あたりまでは潮の満ち引
きが影響しているようです。

どんな生き物が見られるの
か、早速水中ドローンを沈
めてみることにしました。

川の流に逆らいなが
ら、川底スレスレのところを
操り、ドローンが進みます。
上から見るとかなり澄んで
いるように見えても、1m先

がなんとか見えるぐらいで
す。そんな時何が動いた
のでドローンをそちらに向
けると、川底をほうミシッ
ピアカミミガメ。陸上だと動
きの遅い生き物代表格で
すが、水の中だと想像以上
に俊敏です。



ミンソッピアカミミガメ(幼体はミドリガメで親しまれている)が川底をかなり敏捷にはいまわっていました。

理事長トヨダの The Lord of the Everest

第3回

『地球温暖化』。この言葉が世
の中に登場して久しい。確かに今
シーズンだって、横浜に雪が積も
る日はなかったし、日本国内でも
スキー場で雪が足りないという
ニュースも聞いた。台風も今まで
に体験したことのないような強
大なものに発達したり。なんか漠
然と、地球が温暖化しているの
かな? ぐらいの認識しかなかった。

しかし、昨年8月にロシアのエ
ルブルース登山で、驚くべき事
実を耳にした。このエルブル
ースの山を含み、ちょうどロー
ッパとロシアの国境に沿って、
4,000mを超えてコーカサス山脈が連

る。そしてそのそれぞれの山の8
合目付近から頂上に氷河が存在
する。エルブルースの麓にあるア
ザウという村では、この村に住
む人も、また10年以上毎年のよ
うに登山ガイドとしてここに訪
れている人たちも、10
年前に比べて氷河
が50m以上後退
していると、口を揃
えてそう話す。

標高4,000mよ
りも高いところ
にある氷河が50
mも後退する、つまり
融けるということ

は、想像を絶するほどの大きさの
氷すらも融かしてしまうような暖
かい環境に変化してきているこ
とになる。日々の暮らしの中では
漠然とした認識しか得られない
地球の温暖化。こんなところまで
影響が出ているとは思えないよ
うなんびりとした平和な場所
にも、ひたひたと足音を忍ばせて
寄ってきていたのだ。



地球温暖化などという言葉が聞かれるとは思ってもみなかった雄大な景色の村。撮影:豊田直之



地元の人も標高4,000~5,000mの氷河が10年間で50m以上も後退していると言う。これは一体何を意味しているのだろうか? 撮影:豊田直之

大岡川ニュースの キャラクター 名前が決まりました!

応募総数31点。皆様ご
応募ありがとうございました。
その中から検討の結果、『大
岡ハゼ丸』に決定しました。

ボクの名前は
大岡ハゼ丸!

皆さんの応募名
「大岡未来」と
「はぜまる」とを
組み合わせ、
この名に決定。二人とも小
学生です。ありがとうございました。
今後、『大岡ハゼ丸』くん



多くの方に応募いただき、おかげさまで素晴らしい名前がつけられました。ありがとうございました。

は、本紙のキャラクターとし
てだけではなく、活動のシ
ンボルとして展開させてい
きます。



吉田興産グループ
横浜市中区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

都市開発の基礎を支える
三好商会グループ

【商社】(株)三好商会 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3440
【運送】旭企業(株) 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3520
【環境】三好環境(株) 川崎市川崎区東田町8 044-221-1602

天麩羅・肴
登良屋

横浜市中区吉田町2-3
045-251-2271

